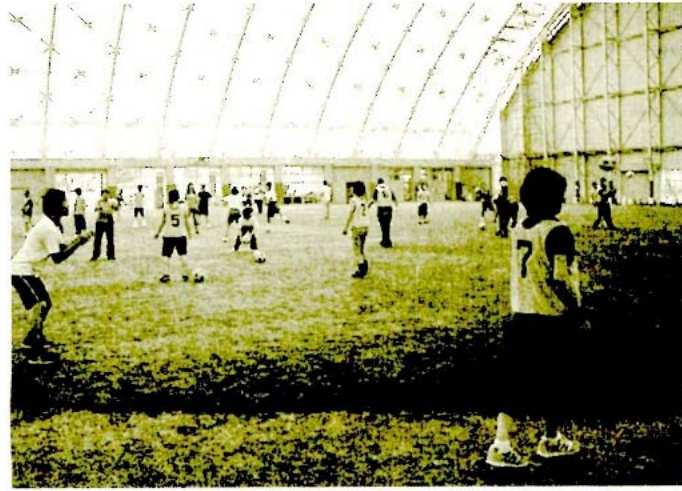


みんなdeスポーツ! わが町の取り組み

⑳

富山県



思い思いにスポーツを楽しむ参加者

平成13年の第1回全国障害者スポーツ大会のブロック予選参加をきっかけに、富山県フットベースボールチームが誕生しました。以来、年間10回のスポーツ教室と、数回の強化練習会を実施しながら活動を続けており、県内特別支援学校の教員と障がい者スポーツ指導員が指導しています。毎回25人を超える参加者は、県内知的障害特別支援学校の生徒や支援学校を卒業した社会人と幅広く、参加者数は教室開始から16年間で、延べ5千人に迫ります。

参加の目的はさまざまです。生涯スポーツとしての余暇の有効活用や

フットベースボールで地区超えて友情築く

体力づくり、健康保持、仲間づくりであったり、競技スポーツとして技術を向上させて県選抜チーム入りし、全国大会への出場であったりします。指導者は、それぞれに応じた指導方法を工夫しており、参加者にとっては十分満足できる活動となっています。

参加者の中から選ばれた選抜チームは、県外チームと試合をしたり、全国大会予選に出場したりしています。残念ながら、同じブロックに全国大会決勝進出常連の静岡県チームがいるため、全国大会への出場はかなり難しい状況にありますが、目標を高く持って厳しい練習に励んでいます。

特別支援学校卒業生は、社会人となると余暇活動などに取り組む機会が減り、仲間と過ごす時間が少なくなる現状があります。この活動が、県内全域で友達をつくる機会となり、厳しい練習の成果を大会の場で発揮できるよう、活動を続けていきたいと考えています。

(蔵浩知・富山県立ふるさと支援学校教諭)